



未来をきりひらく3学期へ

新年を迎え、子どもたちが元気に登校してくれる姿に、学校にも明るい空気が戻ってきました。4月から積み重ねてきた歩みを丁寧に振り返りながら、次の学年や卒業へとつながる大切な学期が始まります。

本校は今年度、開校第2期「むすぶ3年間」の1年目として、地域と共に歩む実践、読書をととした学びの広がり、そして「みがく むすぶ きりひらく」教育活動の充実に取り組んできました。多くの場面で、子どもたちが仲間や先生、地域の方々となつながら自信を育む姿が見られ、その一つ一つが本校の歩みを確かなものにしてれています。

今年は午（うま）年です。古来、馬は「まっすぐに進む力」「仲間と群れ、支え合う存在」として象徴的に語られてきました。これは、子どもたちが本校で大切にしている学びの姿とも重なります。3学期は、子どもたちが自分のペースで歩みをととのえ、次のステップへ向けて力強く前へ進んでいく時期です。午年の勢いになぞらえ、一人ひとりが“自分らしい歩幅”で未来へと駆け出せるよう、学校全体で支えてまいります。

また、馬が“仲間とともに群れをつくる”性質を持つように、本校の教育活動は常に「つながり」の中にあります。1・2学期に進めてきた交流及び共同学習の取組も、仲間と共に挑戦し、支え合いながら学ぶ貴重な機会でした。3学期も、この学びをさらに豊かにし、子どもたちの可能性を“むすぶ・きりひらく”経験へとつなげてまいります。

保護者・地域の皆様には、これまで温かい御支援をいただき、心より感謝申し上げます。日々の教育活動や読書環境の充実、地域と連携した取組の一つ一つが、子どもたちの確かな成長につながっています。年度のまとめとなるこの学期も、学校と家庭、地域が心をひとつにしなが、子どもたちが安心して学び、自分の力を輝かせられる環境をともに整えていければ幸いです。

寒さが厳しくなる時期ではありますが、健康に気をつけながら、子どもたちが明るく伸びやかに過ごせる3学期となるよう努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

校長 江口 直美



■学校運営協議会主催 ISCC「スポーツ・文化を楽しむ日」■

本校の教育理念である「地域と共に歩む学校」として、地域のすべての人と一体となって共生社会の実現や地域の振興を担う学校という意識をもち、本校の学校運営協議会主催の ISCC「スポーツ・文化を楽しむ日」を年間4回実施しています。対象は、小学部5年生から高等部3年生までの児童生徒、卒業生、保護者、地域の方々となっています。講師をお招きして本校の児童生徒が地域の方々とともに、スポーツ活動や文化活動を楽しんでいます。卒業生の参加は今年度からとなり、本校の児童生徒と一緒に、この取組を盛り上げています。今年度は第3回まで終了し、あとは第4回を残すのみとなりました。

どの個人、団体の方もわかりやすく丁寧に指導していただき、児童生徒、保護者の方々、卒業生、教職員もたいへん盛り上がり、充実した時を過ごすことができています。参加した児童生徒、卒業生からはいつも、「楽しかった」「もっとやってみたい」という声が聞かれ、この取組が生涯にわたるスポーツ・文化活動の礎になるということを実感しております。さらに、児童生徒が地域の人々とのふれあいを楽しむことで、自信をもてるようになり、地域の人に本校を知ってもらったりする機会になっています。今後の取組に向けて参加者にアンケートを実施して、幅広く希望を聞き、次年度以降もさらに活性化していきます。

(ISCC「スポーツ・文化を楽しむ日」の様子)



■総合防災訓練■

12月8日(月)、1日をとおして防災について考え、体験しながら学ぶ、総合防災訓練を実施しました。訓練は、地震を想定した『避難訓練』、災害時に動ける体づくりや自分で判断する力を遊びながら養う『あそぼうさい』、自助から共助へとつなげることを目的に、救急車が到着するまでの処置を学ぶ『応急処置法』、そして避難所生活を想定し、いつもと違う環境で食事をする『防災給食』の4つのテーマで実施しました。

避難訓練では、午前9時30分に緊急地震速報が校内に鳴り響きました。大きな音に驚く様子も見られましたが、指導者の指示を落ち着いて聞いたり、自ら防災頭巾をかぶって机の下に身を隠したりする等、日頃の学習の成果を発揮する姿が見られました。『あそぼうさい』では、災害発生時に物が倒れた中を想定した不安定な道を渡るコーナー、煙を吸わないように低い姿勢で移動するコーナー、大きな地震の際に安全な道を選ぶコーナー等、体育館に準備された様々な種目に、楽しみながら挑戦しました。初めはうまく動けなくても、繰り返し挑戦する中で、自分の体の動かし方を考え、工夫して進む姿が多く見られました。『応急処置法』では、京田辺市消防本部より消防士の方を講師としてお招きし、119番通報から救急車が到着するまでの時間や、心肺蘇生法を行うことで生存率や後遺症の発生率がどのように変化するかについて解説して頂きました。また、実際に練習キットを使用し、胸骨圧迫の練習にも取り組みました。『防災給食』では、普段の教室とは異なる場所で床にレジャーシートを敷き、椅子や机がない環境で食事をしました。給食の内容も普段と異なり、アルファ化米やソーセージ、パックジュース等、できるだけ火を使わないメニューで、実際の災害時を想定した体験をすることができました。

災害対策については、日頃からどれだけ防災を意識し、備えができていくかが大変重要です。今回の総合防災訓練をきっかけに、御家庭においても、是非お子様と一緒に防災について考えていただければ幸いです。最後になりますが、総合防災訓練の実施に当たり、多くのYS・YBの皆様にご協力を頂きましたことに、心より感謝申し上げます。

『あそぼうさい』の様子



『応急処置法』の様子



『防災給食』の様子

